

2017年度 決算説明会

2018年5月11日

三菱ガス化学株式会社

証券コード：4182

目次

1 | 2017年度 決算概要

2 | 2018年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

1 | 2017年度 決算概要

2 | 2018年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

2017年度 業績のポイント

<2017年度業績概要>

- ◆ 売上高および各利益段階で過去最高を更新、中期経営計画の利益目標を超過達成
- ◆ 営業利益：高純度イソフタル酸、ポリカーボネート、メタノール誘導品の大幅な市況上昇に加え、販売数量の増加もあり増益
- ◆ 持分法利益：海外メタノール生産会社に係る持分法利益が減少
- ◆ 配当：年21円の増配となる59円（中間24円、期末35円^(*)）

*2018年5月25日の取締役会で正式に決定する予定

2017年度 業績サマリー

● 増収増益を達成し、過去最高益を更新

【単位：億円】

	2016年度 実績	2017年度 実績	増 減		2017年度 前回予想*
			金額	%	
売上高	5,564	6,359	794	14.3%	6,300
営業利益	437	627	189	43.4%	590
(持分法利益)	(211)	(182)	(▲ 28)	-	(210)
経常利益	624	807	182	29.3%	800
税金等調整前当期純利益	610	734	123	20.2%	700
親会社株主に帰属する当期純利益	480	605	125	26.1%	560

一株当たり当期純利益(円/株)※	221.83	281.39
R O E (%)	12.0	13.6
為替レート(J P Y / U S D)	108	111

* 2018年2月6日公表

為替影響：売上高+100億円、営業利益+25億円、経常利益+35億円

※当社は、2016年10月1日付で株式併合（2株→1株）を実施しております。本資料の一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

(注) 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

2017年度 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

		2016年度	2017年度	増 減
営 業 外 損 益		186	179	▲ 6
	持分法による投資損益	211	182	▲ 28
	金 融 収 支	8	15	6
	為 替 差 損 益	▲ 12	1	14
	そ の 他	▲ 21	▲ 20	0
特 別 利 益		25	28	3
	投資有価証券売却益	7	19	11
	そ の 他	17	9	▲ 8
特 別 損 失		▲ 38	▲ 101	▲ 62
	投資有価証券評価損	-	▲ 82	▲ 82
	債務保証損失引当金繰入額	-	▲ 10	▲ 10
	固 定 資 産 処 分 損	▲ 1	▲ 2	▲ 1
	事 業 撤 退 損	▲ 8	▲ 2	6
	関 係 会 社 整 理 損	▲ 6	▲ 1	5
	そ の 他	▲ 22	▲ 1	21

● 持分法利益

天然ガス系化学品▲34

(METOR社※1の税金費用増加※2、AR-RAZI社※3のプラントトラブル、ブルネイ メタノール社の定期修繕等により、減少)

※1：ベネズエラの持分法適用会社

※2：ベネズエラの為替制度変更により、税金費用が増加

※3：サウジアラビアの持分法適用会社

機能化学品+10 等

● 投資有価証券売却益

16年度/17年度ともに政策保有株式の売却により発生

● 投資有価証券評価損、 債務保証損失引当金繰入額

カナダ シェールガス・LNGプロ
ジェクトに関する損失を計上

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

2017年度末 貸借対照表

● 収益力の向上により、財務基盤が強化

【単位：億円】

科 目	2017年 3月末	2018年 3月末	増 減
流 動 資 産	3,266	3,910	643
現 預 金	750	1,010	260
売 掛 債 権	1,384	1,656	271
棚 卸 資 産	946	1,037	91
そ の 他	186	205	19
固 定 資 産	4,115	4,014	▲ 100
有 形 固 定 資 産	2,180	2,207	26
無 形 固 定 資 産	83	84	0
投 資 そ の 他 の 資 産	1,850	1,723	▲ 127
資 産 合 計	7,381	7,924	543

科 目	2017年 3月末	2018年 3月末	増 減
負 債	2,648	2,733	85
買 掛 債 務	685	887	202
有 利 子 負 債	1,187	1,069	▲ 117
そ の 他	775	776	0
純 資 産	4,733	5,191	457
株 主 資 本	4,129	4,556	426
その他包括利益累計額	117	117	0
非 支 配 株 主 持 分	486	517	31
負 債 ・ 純 資 産 合 計	7,381	7,924	543
自 己 資 本 比 率	57.5%	59.0%	
一株当たり純資産(円/株)	1,968	2,188	

2017年度 キャッシュフロー計算書

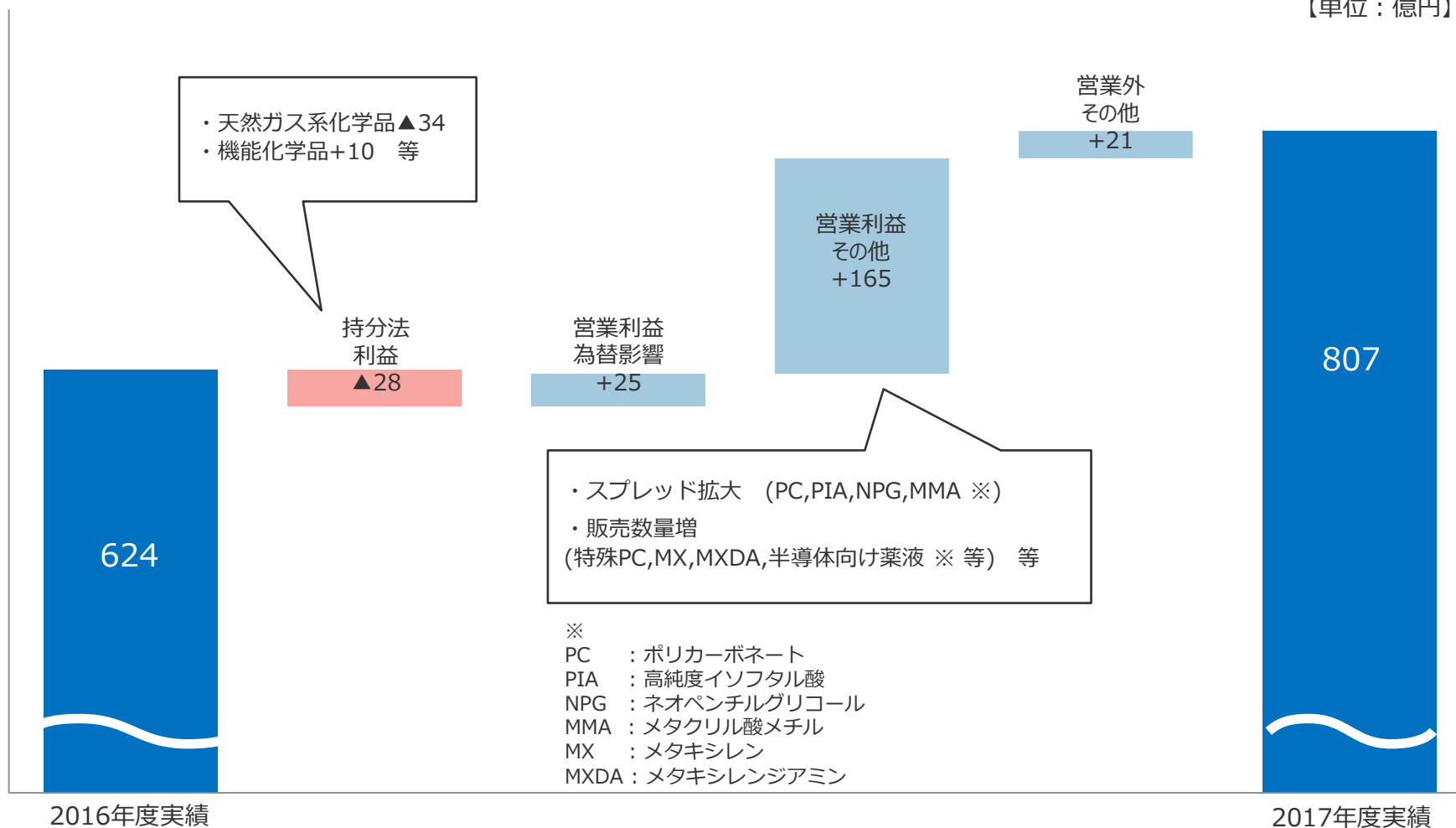
● 収益力の向上により、CFは高水準で推移

【単位：億円】

	2016年度	2017年度	増 減
営 業 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	827	907	80
税金等調整前当期純利益	610	734	123
減価償却費	256	270	13
持分法利益	▲ 211	▲ 182	28
持分法適用会社からの配当金受取額	122	200	77
運転資金等	100	▲ 56	▲ 156
法人税等支払額	▲ 52	▲ 58	▲ 6
投 資 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	▲ 311	▲ 336	▲ 24
設備資金	▲ 314	▲ 344	▲ 29
投融資資金等	2	7	4
フ リ ー キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー (差 引)	515	571	55
財 務 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	▲ 602	▲ 330	271
借入金・社債増減等	▲ 469	▲ 161	308
自己株式取得	▲ 62	▲ 70	▲ 7
配当金支払額	▲ 69	▲ 99	▲ 29
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	▲ 9	▲ 8
現金及び現金同等物の増減額（合計）	▲ 86	231	317
現金及び現金同等物の期末残高	671	903	231

2017年度 経常利益 増減要因

【単位：億円】



1 | 2017年度 決算概要

2 | 2018年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

2018年度業績見通しのポイント

<2018年度業績見通し概要>

- ◆ 増収も、営業利益および経常利益は減益を予想
- ◆ 営業利益：市況の下落、エレクトロニクスケミカル事業の競合激化、修繕費や研究開発費等の固定費増加等で減益
- ◆ 持分法利益：海外メタノール生産会社に係る持分法利益が増加
- ◆ 当期利益：特別損益の改善等により、17年度並み
- ◆ 配当：年11円の増配となる70円を予想

2018年度 業績予想サマリー

- 増収も営業利益、経常利益は減益を予想。当期利益は前年並み。

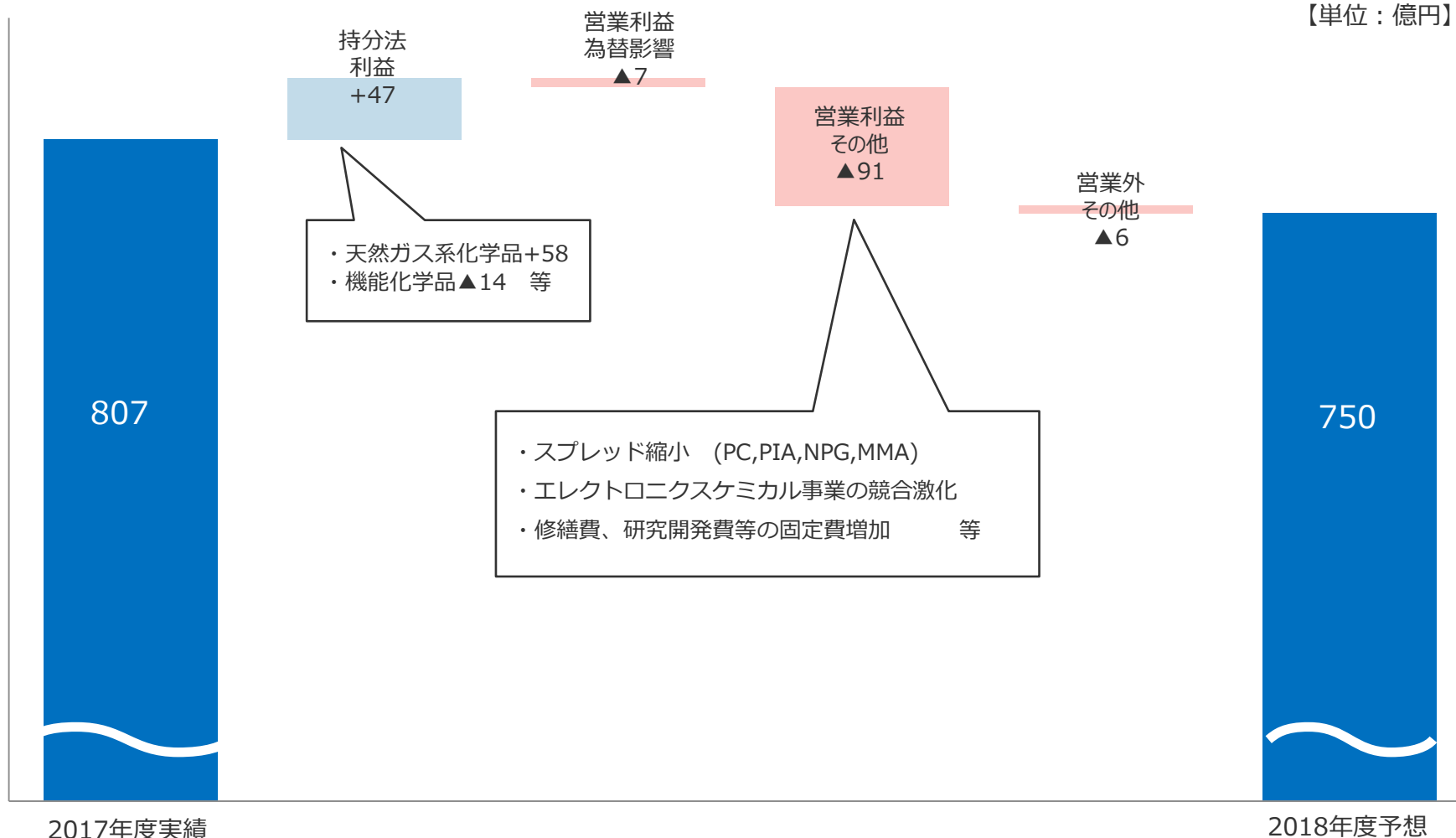
【単位：億円】

	2017年度 実績	2018年度 予想	増 減	
			金額	%
売上高	6,359	6,400	40	0.6%
営業利益	627	530	▲ 97	▲15.5%
(持 分 法 利 益)	(182)	(230)	(47)	-
経 常 利 益	807	750	▲ 57	▲7.1%
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	734	790	55	7.6%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	605	610	4	0.8%

一株当たり当期純利益(円/株)	281.39	285.57
R O E (%)	13.6	12.5
為 替 レ ー ト (J P Y / U S D)	111	110

2018年度経常利益予想 増減要因

【単位：億円】



設備投資・株主還元の状況

設備投資（固定資産計上ベース）

【単位：億円】

	2016年度	2017年度	2018年度予想
天然ガス系化学品	90	60	65
芳香族化学品	105	113	165
機能化学品	81	110	145
特殊機能材	66	19	40
その他	5	6	35
計	350	309	450

株主還元

● 2017年度

中間配当（実績）：24円/株

期末配当（予想）：35円/株

年間配当（予想）：59円/株（前期比 21円/株の増配）

自己株式取得（2017年11月～2018年1月、約70億円）

自己株式消却（2017年11月、10百万株、発行済株式総数に対する割合：4.14%）

総還元性向：32.5%

● 2018年度（予想）

中間配当：35円/株

期末配当：35円/株

年間配当：70円/株（前期比 11円/株の増配）

1 | 2017年度 決算概要

2 | 2018年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

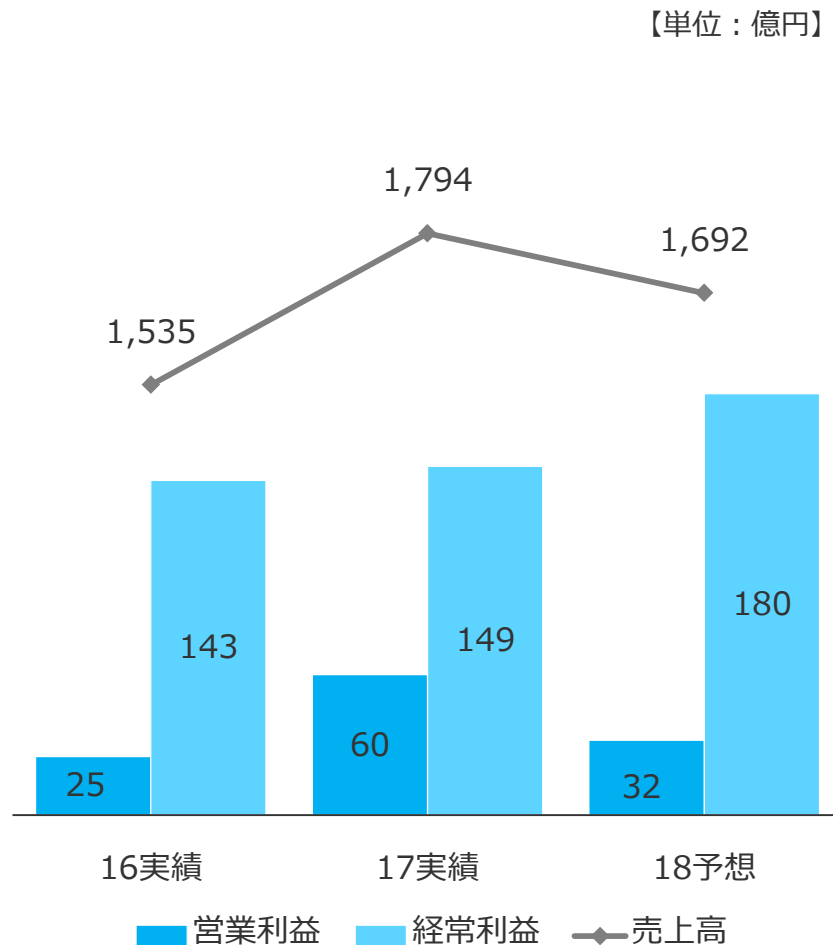
セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

【単位：億円】

	16実績			17実績			18予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,679	2,885	5,564	3,029	3,329	6,359	3,200	3,200	6,400
天然ガス系化学品	701	834	1,535	814	980	1,794	865	827	1,692
芳香族化学品	955	989	1,944	1,062	1,092	2,154	1,075	1,077	2,152
機能化学品	835	886	1,722	979	1,071	2,051	1,055	1,078	2,133
特殊機能材	248	253	502	252	275	527	253	265	519
全社/調整	▲ 61	▲ 78	▲ 139	▲ 79	▲ 90	▲ 169	▲ 50	▲ 47	▲ 97
営業利益	192	244	437	302	324	627	270	260	530
天然ガス系化学品	3	21	25	22	38	60	13	19	32
芳香族化学品	90	92	183	142	119	262	124	98	222
機能化学品	96	120	216	138	164	302	118	132	250
特殊機能材	20	27	48	24	25	50	26	24	51
全社/調整	▲ 19	▲ 16	▲ 36	▲ 24	▲ 24	▲ 49	▲ 12	▲ 14	▲ 27
経常利益	246	377	624	420	387	807	380	370	750
天然ガス系化学品	39	103	143	86	62	149	88	92	180
芳香族化学品	85	89	175	138	112	251	118	94	212
機能化学品	114	153	268	176	210	386	144	161	306
特殊機能材	27	34	61	33	29	63	31	31	63
全社/調整	▲ 19	▲ 4	▲ 24	▲ 15	▲ 28	▲ 43	▲ 2	▲ 9	▲ 12

天然ガス系化学品

【単位：億円】



●2017年度 実績

- ◆メタノール：市況上昇（16年度実績：278ドル/MT→17年度実績：340ドル/MT）
- ◆ネオペンチルグリコール(NPG)、MMA系製品：市況上昇
- ◆持分法利益：メタノール市況が上昇したものの、METOR社※1の税金費用増加※2、AR-RAZI社※3のプラントトラブル、ブルネイメタノール社の定期修繕等により、減少

※1：ベネズエラの持分法適用会社

※2：ベネズエラの為替制度変更により、税金費用が増加

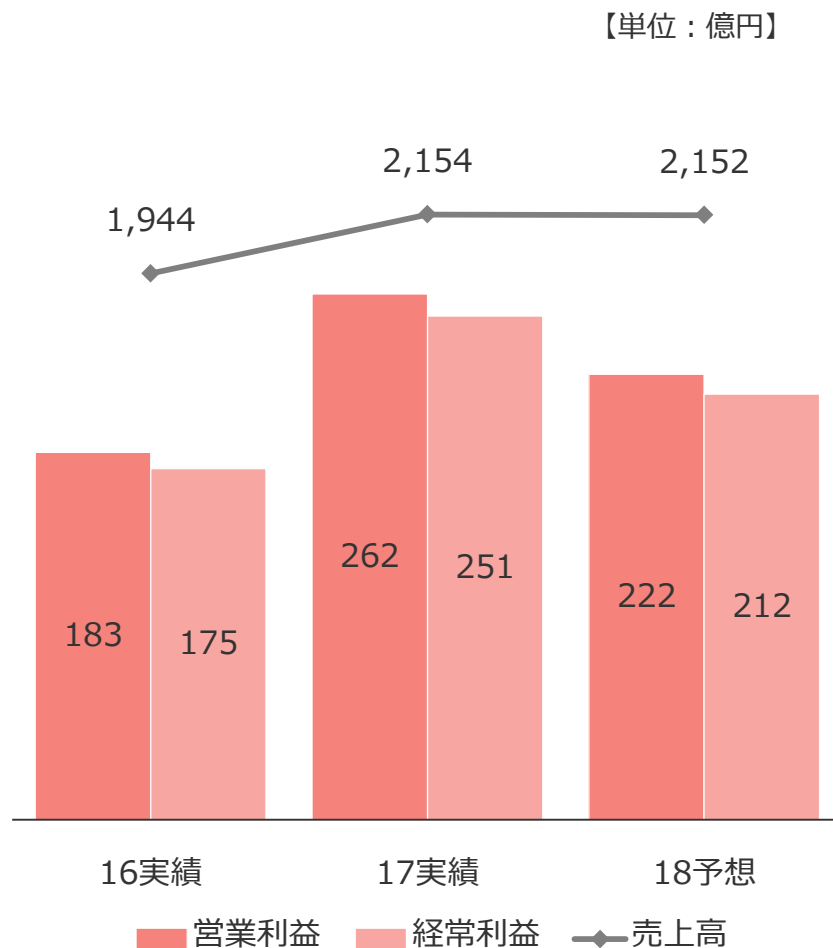
※3：サウジアラビアの持分法適用会社

●2018年度 予想

- ◆メタノール：前年並みの市況を見込む（17年度実績：340ドル/MT→18年度予想：335ドル/MT）
- ◆NPG、MMA系製品：市況下落
- ◆修繕費等の固定費増加もあり、営業利益は減益を予想
- ◆持分法利益：上記2017年度の減益要因の解消などにより、増益を予想

芳香族化学品

【単位：億円】



● 2017年度 実績

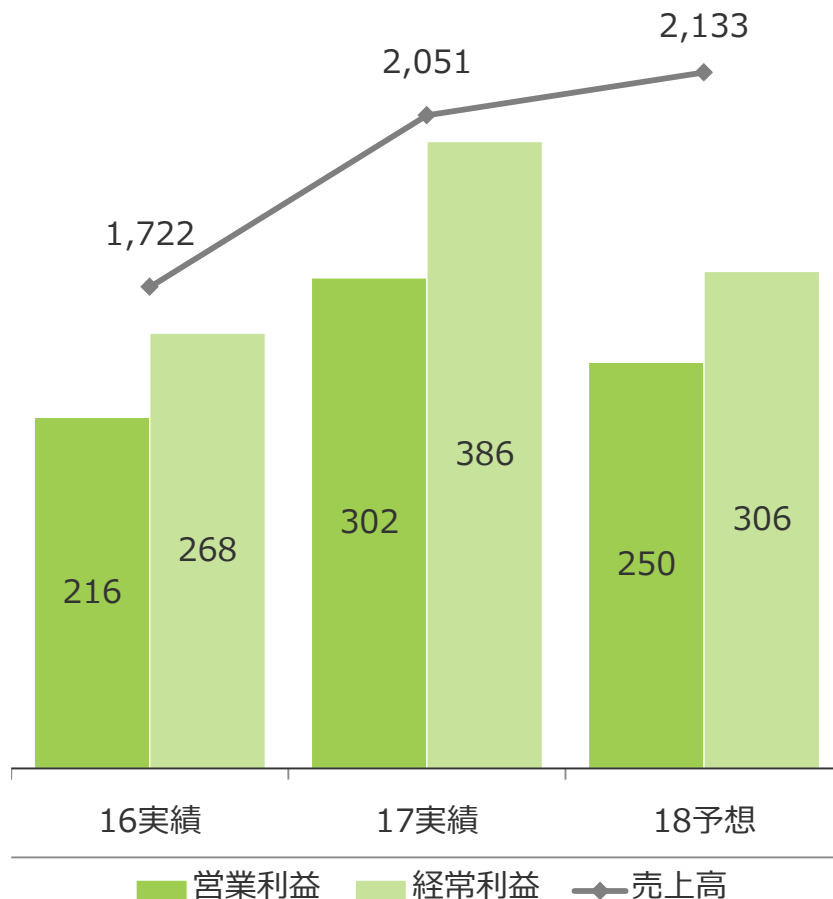
- ◆ 高純度イソフタル酸(PIA)：市況が大幅に上昇
- ◆ メタキシレン：休止していた生産装置1系列を2017年3月末に再稼働、販売数量が増加
- ◆ メタキシレンジアミン(MXDA)：販売数量増加、販売価格上昇
- ◆ 発泡プラスチック(JSP)：自動車向けの発泡ポリプロピレン(EPP)の販売数量が増加したものの、原燃料価格の上昇等で損益は前期をやや下回る

● 2018年度 予想

- ◆ MXDA等の特殊芳香族は引き続き堅調な販売を見込む
- ◆ PIAのスプレッドは、17年度に比べ縮小を予想。水島工場が大型定修年に当たり固定費が増加することもあり、減益の見通し
- ◆ JSP：EPPの販売数量は、引き続き増加を見込む

機能化学品

【単位：億円】



●2017年度 実績

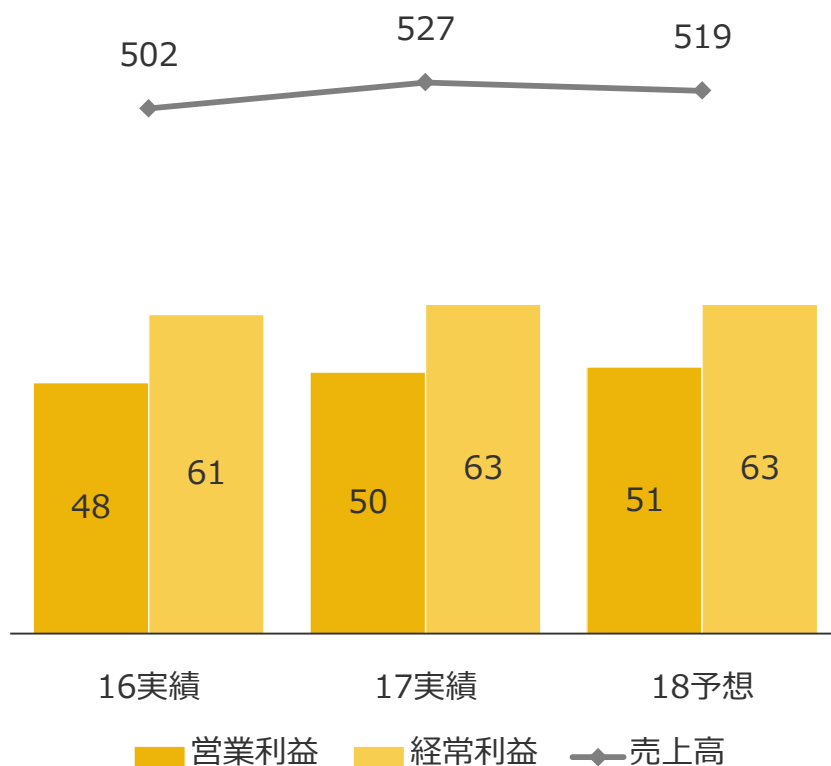
- ◆無機化学品：半導体市場の拡大に伴い、半導体向け薬液の販売数量が増加
- ◆ポリカーボネート(PC)：中国を中心に需要が好調。PC-ビスフェノールA (BPA)のスプレッドは、非常に高い水準で推移
- ◆スマホレンズ向け特殊PCの販売数量が増加
- ◆PCシートフィルム：ゲーム機や車載向けなどが好調

●2018年度 予想

- ◆無機化学品：エレクトロニクスケミカル事業の競合環境激化、米国の新工場立上げに伴う固定費等の増加などにより、減益を予想
- ◆PC-BPAスプレッドは、17年度に比べ縮小を予想
- ◆スマホのデュアルレンズ化の拡大等を背景に、引き続き特殊PCの販売数量増加を見込む

特殊機能材

【単位：億円】



● 2017年度 実績

- ◆ 電子材料：主力の半導体パッケージ向けBT材料は、引き続きメモリー分野が好調で増収増益
- ◆ 脱酸素剤：海外での採用拡大等により増収となったものの、新工場の生産開始により固定費負担が増加し、減益

● 2018年度 予想

- ◆ 電子材料：BT材料の販売数量は17年度並みを見込む。引き続き、5G通信規格などの大容量通信や高速データ処理といった材料の高度化、多様化に対応した開発を推進
- ◆ 脱酸素剤：医薬向けを含めた海外展開の強化、新工場の稼働率向上の取り組みを推進

Appendix

参考： 各種指標（1）

【単位：億円】

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018(予)
設備投資額 (上期)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	254 (138)	222 (103)	305 (149)	350 (137)	309 (139)	450 (220)
減価償却費 (上期)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	235 (114)	237 (115)	267 (131)	256 (122)	270 (131)	270 (130)
研究開発費 (上期)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	161 (80)	168 (80)	189 (92)	192 (92)	189 (95)	220 (110)
年度末人員(人)	4,920	4,979	5,216	5,323	5,445	8,254	8,176	8,034	8,009	8,239
一株当たり当期純利益(円/株)*	26	84	55	▲35	66	192	154	222	281	286
総資産経常利益率(%)	1.4	6.5	4.5	4.6	4.8	5.8	5.9	8.4	10.5	9.3
自己資本当期利益率(%)	2.2	6.9	4.4	▲2.8	5.0	12.6	9.0	12.0	13.6	12.5
配当金(円/株)* (うち2Q末)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	24.0 (12.0)	24.0 (12.0)	24.0 (12.0)	28.0 (14.0)	32.0 (16.0)	38.0 (16.0)	59.0 (24.0)	70.0 (35.0)

*当社は2016年10月1日に株式併合（2株→1株）を実施しております。一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

参考： 各種指標（2） セグメント別 設備投資額・減価償却費（連結）

【単位：億円】

年度		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 (予)
設備投資額(※)	天然ガス系化学品	71	140	139	63	45	57	53	90	60	65
	芳香族化学品	77	45	47	57	23	40	106	105	113	165
	機能化学品	81	148	216	150	112	76	99	81	110	145
	特殊機能材	45	18	18	33	66	43	38	66	19	40
	その他	1	3	1	3	5	3	7	5	6	35
	合計	276	354	424	309	254	222	305	350	309	450
減価償却費	天然ガス系化学品	75	86	77	62	63	69	61	50	51	55
	芳香族化学品	79	78	77	58	41	39	82	85	85	85
	機能化学品	86	80	84	77	95	92	88	86	91	90
	特殊機能材	51	42	35	27	31	33	30	30	35	35
	その他	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5
	合計	295	290	277	230	235	237	267	256	270	270

※固定資産計上ベース

参考： 各種指標（3）

	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度 (予想)
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
為替(JPY/USD)	103	117	122	118	105	112	111	111	110
為替(JPY/EUR)	139	139	135	130	118	119	126	133	130
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	104	63	56	36	43	51	50	62	60
メタノール (US\$/MT) アジアスポット平均価格	432	358	301	230	230	327	296	381	335
原料キシレン (US\$/MT)	1,100	730	740	630	660	680	650	725	705
ビスフェノールA (US\$/MT) *	1,600 ～2,000	1,200 ～1,900	950 ～1,500	850 ～1,100	1,000 ～1,200	1,000 ～1,400	1,100 ～1,300	1,200 ～1,700	1,200 ～1,800
ポリカーボネート (US\$/MT) *	2,500 ～2,700	2,300 ～2,700	2,100 ～2,650	2,000 ～2,400	2,200 ～2,500	2,400 ～2,800	2,500 ～2,900	2,900 ～3,900	2,700 ～3,900

*期間中の最小値および最大値を記載

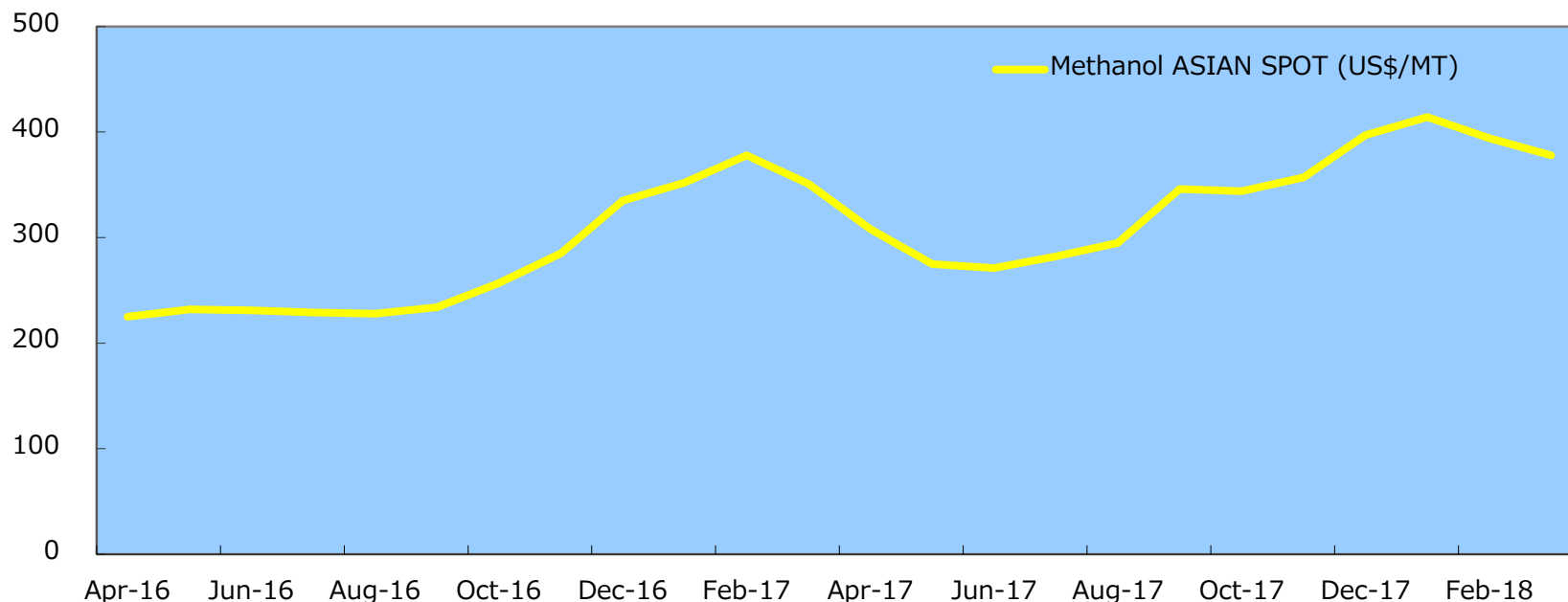
感応度（概算）

- 為替（USD）：1円の円高(円安)で、営業利益9億円/年、経常利益11億円/年の減益（増益）
 為替（EUR）：1円の円高(円安)で、営業利益0.7億円/年、経常利益0.7億円/年の減益（増益）
 原油(Dubai)：1\$/BBLの上昇（下落）で、3億円/年の減益（増益）
 メタノール：メタノール市況1\$/MTの上昇（下落）で、持分法利益1億円/年の増益（減益）

※メタノールについては、2014年度は、上期：1-6月、下期：7-12月の価格を表記しております。
 2015年度以降は、上期：4-9月、下期は：10-3月の価格を表記しております。

参考：メタノール市況の推移

(US\$/MT)



2017年度 実績：340 US\$ /MT

需要：7月以降、中国MTO(Methanol To Olefin)の稼働が上昇し、需要が増加

供給：新規大型プラントの稼働はみられず。中国における冬場の天然ガス規制の影響により、2017年後半から天然ガスを原料にするプラントの供給量が減少

2018年度 予想：335 US\$ /MT

需要：引き続き、中国MTO用途を中心に増加する見通し

供給：新規プラント（5月：北米、下期：イラン）の稼働により増加する見通し

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報 I R 部

T E L 0 3 - 3 2 8 3 - 5 0 4 1

www.mgc.co.jp

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

社会と分かち合える価値の創造

 三菱ガス化学株式会社

mitsubishi gas chemical company, inc.